



尾久八幡

令和7年度 10月号
令和7年10月2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

稀にみるハイスコアでの接戦の末、総合3位の好成績を収めました！ 荒川区立中学校連合体育大会 9月25日(木)

9月25日(木)、荒川区中学校連合体育大会が江戸川区陸上競技場を会場に開催されました。

本大会は長年にわたり、区立中学校の全生徒が選手・応援団として、国立競技場を会場に一同に会する形で行われてきました。その後、国立競技場建替を期に平成26年度からは会場を変更、コロナ禍による2年間の実施見送りを挟みながら開催されてきました。この間、開催方式・競技方法が見直され、参加生徒は会場規模の関係等により、現在は選手・係生徒のみの参加、トラック競技は予選を行わないタイムレース方式となっています。



選手はここまで、一人ひとりが目標をもち、学年を越えて共に励まし合いながら、練習を重ねてきました。その結果、総合得点で3位という、好成績を収めることができました。これは、選手誰もが本校の代表として誇りをもって大会に参加、それぞれが自分のベストを尽くしてくれた結果だと思います。選手の皆さん、よくがんばってくれました。お疲れ様でした。

— 入 賞 者 紹 介 —

男子

1年男子 100M	第1位	佐藤 諒	12 "84
2年男子 100M	第4位	安藤夕朔	12 "73
3年男子 100M	第3位	劉 翼希	12 "32
共通男子 200M	第3位	戸上愁麻	25 "50
共通男子 400M	第1位	西山拓希	55 "93
1年男子 1500M	第3位	石川 創	4'59 "88
2・3年男子 1500M	第1位	網川凜佑	4'34 "68
共通男子走高跳	第3位	関口竜斗	1m60
1・2年男子走幅跳	第5位	朴 航佑	4m87

3年男子走幅跳 第5位 石田 光 5m27
 共通男子砲丸投げ 第4位 清水陽斗 8m80
 1年男子4×100MR 第1位 岩瀬結真、佐藤 諒、佐藤悠吏、大泉恵一 51"53
 2年男子4×100MR 第2位 新井彪桜、安藤夕朔、朴 航佑、林 湊太 49"00
 3年男子4×100MR 第4位 戸上愁麻、笠原孝太、石田 光、西山拓希 48"38

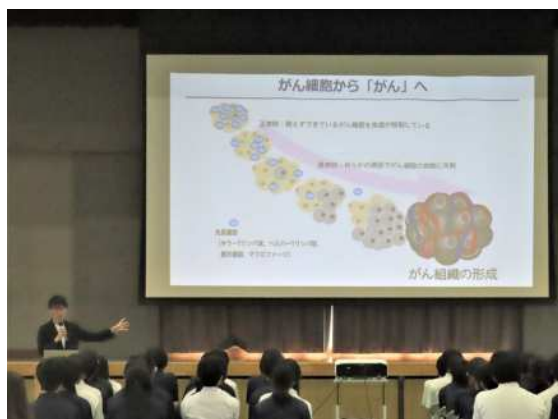
女子

1年女子 100M 第6位 長谷川友那 15"09
 共通女子 200M 第4位 安東柚風 30"34
 1年女子 800M 第3位 荒木音乃 2'47"26
 2・3年女子800M 第2位 一色愛桜 2'46"50
 共通女子1500M 第3位 田中音羽 5'55"60
 1・2年女子走幅跳 第4位 青山千華 4m17
 3年女子走幅跳 第5位 松田実紋 4m22
 共通女子砲丸投げ 第1位 田近ちとせ 9m26
 2年女子4×100MR 第3位 仲里璃愛、守本咲歩、高橋心音、青山千華 56"31
 3年女子4×100MR 第1位 小野寺 凜、松田実紋、田中音羽、安東柚風 55"32

専門の方からのご講義を受け、早期発見早期治療の大切さを知りました。

がん教育 講習会 実施 9月13日(土)

荒川区では、本年度より、東京都立大学及び日本医科大学附属病院と連携し、「外部人材派遣によるガン教育授業を支援する事業」を始めました。そこで本校ではオープンスクールの9月13日(土)、東京都立大学 健康福祉学部 助教 大平 新悟 先生にお出でいただき、2年生を対象に「がん教育 講習会」を実施しました。



講義では、がんの予防の仕方、検診の重要性、治療方法とその選択などについてご説明いただきました。今回の講義を通して、がんについて基礎的な知識を得るだけでなく、その病気との向き合う際の考え方を学ぶことができました。そして、早期発見早期治療の大切さを改めて知ることが出来ました。。

スローガン「Q.E.D. ～3年間で証明せよ～」となる宿泊行事でした。

3年 修学旅行 9月2日(火)～4日(木)

1日目は奈良を訪問しました。法隆寺は、修学旅行生で混雑することが多いのですが、本校は東京を早く出発することで、“貸し切り状態”で落ち着いて見学できました。その後の薬師寺や東大寺でもスムーズに移動、お坊さんの講話やガイドさんの説明もしっかり聞くことができ、短時間で効率よく見学をすることができました。



2日目は「大阪・関西万博」へ行きました。始めに、団体予約した「未来の都市」パビリオンなど、入場してきた西ゲート付近を見学しました。その後の班行動では、事前予約の必要なパビリオンもありましたが、意匠を凝らした建物を見るだけでも大いに楽しめました。大屋根リングは壮大で、日本の建築技術の素晴らしさ、そこに集う人々との調和を感じることができました。



3日目は、京都で一日タクシー班行動でした。台風の影響により強い日差しもなく、暑さを避けて快適に班行動ができました。運転手さんには、効率よく見学地を廻っていただき、見学場所では分かりやすく案内していただけたので、充実した見学をするがで、京都を存分に味わうことができました。



今回の修学旅行では、生徒たちは「Q.E.D. ～3年間で証明せよ～」をスローガンに掲げ、3年間で培ってきたことを生かした行事となるよう、取り組んできました。結果、この学年の生徒の良さが生かされた、まさに“集大成”の行事となりました。この成果を、卒業まで残り約半年の学校生活に、そして進路に向けての取組に生かしてってください。

図書委員の運営で、読書の楽しみを分かち合える行事ができました。

校内ビブリオバトル 開催 9月9日(火)

荒川区では、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、子どもたちの豊かな心を育むため、子どもたちが素敵な本と出会い、読書の大切さや楽しさを実感できるよう、読書活動を推進しています。さらに、令和2年度からは、「家読(うちどく)」事業を推進しています。八幡中としても、『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』を、学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。



そうしたなか、今回、図書委員が運営の中心となって、「校内ビブリオバトル」を開催しました。「ビブリオバトル(書評合戦)」とは、“バトル”と呼ばれる発表者が自分のおすすめの本を紹介、それを聞いている会場の観覧者“オーディエンス”が一番読みたいと思った本に投票し“チャンプ本”を決めるというイベントです。八幡中としては昨年度に引き続き2回目の開催です。

9月9日(火)の放課後、図書委員が運営を兼ね、今年は希望者も参加しオーディエンスとなり、各学年から代表生徒2名、総勢6名のバトルによる熱い戦いが繰り広げられました。バトルはそれぞれ自分のお気に入りの本について、その魅力が伝わるように工夫しながら語ってくれ、どの本にも興味が湧きました。AB2つのグループに分かれ予選を行い、それぞれのグループで勝ち残った2名による決勝を行いました。



その結果、大野晴菜さんが紹介した「そして、バトンは渡された」がチャンプ本に選ばれました。おめでとうございます。大野さんは、12月14日(日)に行われる「全国中学ビブリオバトル東京大会」に学校代表として参加する予定です。

こうした機会を通して、読書や発表活動に興味や関心をもつきっかけになってくれるといいなと思います。八幡中の文化的な楽しみを味わえる図書行事となりました。